※令和3年度以前入学生用

学校番号	1003

令和　5　年度　　公　民　　科

教科	公民	科目	政治・経済	単位数	2　単位	年次	3　年次
使用教科書	改訂版 「政治・経済」（数研出版）						
副教材等	最新図説　政経　（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

教科書と副読本（資料集）を用いて講義形式で授業を進める。大学入学共通テストの受験科目である。文系国公立進学希望者は「倫理」も合わせて履修することが望ましい。選択科目であるので、進路との関係にも十分留意すること。予習として教科書を読んでおくとともに、復習としてノートの整理をおこなうこと。

2　学習の到達目標

広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深め、現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解するとともに、それらに関する諸課題について主体的に考察し、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度をみにつける。

3　学習評価（評価基準と評価方法）

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代の社会と人間にかかわる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追求するとともに、平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付け人間としての在り方生き方についての自覚を深めようとする。	現代の社会と人間にかかわる事柄から課題を見いだし、社会的事象の本質や人間の存在及び価値などについて広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	現代の社会と人間にかかわる事柄に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	現代の社会的事象と人間としての在り方生き方とにかかわる基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	授業への取り組み ワークプリント 定期考査	授業への取り組み ワークプリント 定期考査	授業への取り組み ワークプリント 定期考査	定期考査 予習プリント

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和3年度以前入学生用

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	民主政治の基本原理と日本国憲法	1. 民主政治の基本原理 2. 日本国憲法と基本的人権 3. 日本の政治機構 4. 政治参加と民主政治の課題	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a:主権者として、どのように政治にかかわれるかを意識するとともに、時事問題に関心を持つことができる。 b:民主政治の本質や現代政治の様々な特質について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。 c:日本国憲法にある権利を身近な事例で示したり、選挙の方法を比較できる。 d:民主政治の諸原理やそれらに基づく政治制度を理解し、その知識を身に付けている。	定期テスト ワークシート 予習プリント 授業への取り組み
1	現代の国際政治	1. 国際政治の動向 2. 国際社会の課題の日本の役割	 ○	○ ○	 ○	○ ○	a:現代の国際政治の変遷に対する関心が高まっている。 b:国際社会が日本に対して期待している役割について考えることができる。 c:国際社会における日本の地位や立場の変化を理解できる。 d:第二次世界大戦後の国際政治や軍縮のあゆみを概観して理解できる。	定期テスト ワークシート 予習プリント 授業への取り組み
2	現代経済のしくみ	1. 経済活動の意義と経済体制 2. 現代経済のしくみ 3. 日本経済と福祉の向上	 ○ ○	○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○	a:.現代の企業や経済、物価や景気の変動、財政や金融について関心を持つことができる。 b:経済活動の主体が、どのような活動をしているかを考えることができる。 c:習得した経済用語で現実の経済問題を説明できる。 d:現代の日本経済に関する諸課題を理解し、その知識を身に付けている。	定期テスト ワークシート 予習プリント 授業への取り組み
2	国民経済と国際経済	1. 国際経済の動向 2. 国際経済の課題と国際協力	○ ○	 ○	 ○	○ 	a:ボーダレス化やグローバル化を身近に話題にすることができる。 b:国際経済の実態を把握し、南北問題や国際貢献について考えることができる。 c:日本のこれまでの貿易摩擦の実態を時期別に比較することができる。 d:第二次世界大戦後の国際経済のあゆみと、その特徴を理解できる。	定期テスト ワークシート 予習プリント 授業への取り組み
3	現代社会の諸課題	1. 現代日本の諸課題 2. 国際社会の諸課題	○ ○	○ ○	○ ○	 ○	a:現代の諸課題に対して、積極的に関心を持ち、解決することへの意欲がある。 b:現代の諸課題について、自分たちには何ができるのかを考え実践できる。 c:現代の諸課題を統計資料などから読み取ることができる。 d:日本の産業構造の変化や民族問題や地域紛争の背景を理解する。	定期テスト ワークシート 予習プリント 授業への取り組み

※　表中の観点について　　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画(例)作成上の留意点

・原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○をつけている。